

【概要】

人と自然の調和した自然環境の保全に資することを目的とし、野生動植物の保護繁殖に関する各事業に取り組み、社会貢献につとめた。実施した主な事業は次のとおりである。

I. 事業部門

1. 野生生物研究所事業 (寄付行為第 4 条第 1 項、第 2 項該当事業)

- (1) 調査研究・情報収集発信事業を中心に、宍道湖グリーンパークやふるさと尺の内公園の環境整備や各種の普及啓発活動も含めた財団の幅広い事業を支えるべく運営を行った。
- (2) 調査研究や普及啓発事業に必要な資料(文献・標本等)の収集・保存、それらを活用するための整理など活動基盤を維持する拠点として運営を行った。
- (3) 野生生物研究所の実習室は、団体対応や観察会などの室内プログラムのほか、講演会を開催するなどして活用した(年間 41 件、のべ 1,535 人)。

2. 宍道湖グリーンパーク事業 (寄付行為第 4 条第 1 項、第 2 項該当事業)

- (1) 宍道湖グリーンパークおよびビオトープ池の適切な管理を行った。
- (2) 園内の維持管理(除草作業など)は昆虫や野鳥など野生動植物の生息に配慮して実施した。
- (3) カワセミの人工営巣壁について、繁殖継続のための巣穴の埋め戻し作業などのほか、ヘビ避けのための壁面補修を行った。
- (4) ビオトープ池では、渡り鳥の飛来などに配慮しながら水位管理を実施した。
- (5) 園内にタコノアシなどの希少植物の移植を行った。
- (6) 園内の散策路の一部に来園者の利便性を高めるためのソイル舗装を行った。
- (7) 観察舎内などに鳥類をはじめとする写真や解説を掲示し、フィールド情報を時節にあわせて更新するなどの掲示物の管理を行った。
- (8) 夏から秋にかけては捕虫網を自由レンタルし、園内での虫採り体験のきっかけづくりをした。
- (9) 観察舎内に幼児が安全に過ごせる「キッズコーナー」を設けた。
- (10) パークボランティア(22 名)を登録し、観察会の企画実施のほか、イベントや園内の作業補助などに関わった。
- (11) 白鳥の採食場として、グリーンパーク周辺農地約 10ha に地権者の協力を得て水を張り、飛来環境の整備を実施した。
- (12) 野鳥観察舎等で年間 23,833 人の利用者があった。

3. 尺の内公園事業 (寄付行為第 4 条第 1 項、第 5 項該当事業)

- (1) 尺の内公園の適切な管理を行った。
- (2) 園内の維持管理(除草作業など)は昆虫や野鳥など野生動植物の生息に配慮して実施した。
- (3) 園内に試験的に設置したカブトムシの繁殖場所を維持管理した。
- (4) 園内でオニバスやオキナグサなどの希少な植物の増殖試験を行った。
- (5) オニバスの増殖試験を行っていた池を「オニバス池」として本格的に管理することとし、普及啓発用の解説板を設置した。
- (6) 公園に隣接する丘陵地に植栽したクヌギの維持のため除草を行った。
- (7) 公園に隣接する丘陵地にある財団の土地の境界と散策路の位置関係を示した図面を作成した。

4. 調査研究事業（寄付行為第4条第2項、第3項該当事業）

(1) 職員による自主研究を次の課題で取り組んだ。

〈鳥類研究〉

- ①マガン・ヒシクイ・コハクチョウの日周行動特性の研究
- ②グリーンパークの人工営巣壁におけるカワセミの繁殖モニタリング
- ③鳥類生息情報の集積
- ④ヒシクイ・ハクチョウ類のビルパターン解析
- ⑤ビオトープ池の鳥類調査
- ⑥尺の内公園の鳥類調査
- ⑦グリーンパーク周辺の鳥類定量カウント調査
- ⑧白鳥の採食場の利用状況調査

〈昆虫研究〉

- ①ネクイハムシ亜科の進化生物学的研究
- ②鳥根県の水生昆虫類の保全生物学的研究
- ③ヒラタドロムシ科の分布と幼虫期の解明
- ④山陰の海岸に生息する昆虫類に関する研究
- ⑤ビオトープ池の昆虫類調査
- ⑥尺の内公園の昆虫類調査

〈その他〉

- ①斐伊川水系のハゼ科魚類に関する研究
 - ②尺の内公園の人工池におけるオニバス定着の試み
- (2) 委託調査研究として「流水性甲虫類の分子系統解析」、「日野川水系における流水性昆虫の分布様式の研究」など6課題を委託して実施した。
- (3) 5名の客員研究員を委嘱して研究体制を強化した。
- (4) 学会や研修会等で7題の発表を行った。
- (5) 財団研究報告書や他団体発行誌に23題の研究論文を発表した。

5. 普及啓発事業（寄付行為第4項第2項該当事業）

(1) 宍道湖グリーンパークで以下の企画を実施した。

- ・ 定例自然観察会（12回）
- ・ わくわくグリーンパークひろば（10回）
- ・ 田んぼの観察会（6回：うち4回は定例観察会やわくわくひろばと兼ねて実施）
- ・ 昆虫標本作り講座（1回）
- ・ 大型連休（ゴールデンウィーク5/2-6、シルバーウィーク9/19-23）のイベントとして日替わり工作
- ・ 時節にあわせた企画としてマガン・コハクチョウの渡来日予想と「ガン・ハクチョウパネル展」（9/2-10/26）のほか、七夕かざり（7/26-8/7）。
- ・ 20万人達成セレモニー（9/5）
- ・ 時節にあわせたプレゼント企画（開園記念日6/6、お正月1/1-3）

(2) 冬の特別企画「田んぼの命」をゴビウスとグリーンパークの共同開催し、野鳥観察舎を会場とした特別展「田んぼの鳥」を実施した。

(3) 「ゴビウス・グリーンパーク春まつり」をゴビウスとグリーンパークの共同開催し、あわせて企画展「出雲の川の野鳥たち」を開催した（3/24-4/12）。

(4) グリーンパークではパークボランティアの企画参加による自然観察会や環境学習プログラム（委託事業）を実施した。

- (5) パークボランティアに対して連絡誌の発行や、ミニ研修会の開催などの啓発を行った。
- (6) グリーンパーク利用者(主に団体)の申込みに応じて観察プログラム等の対応を行った(年間45回、のべ1,921人)。
- (7) ゴビウスのガラスケース内とグリーンパークの野鳥観察舎を連携させて展示更新をした。
- (8) ふるさと尺の内公園で以下の企画を実施した。
 - ・ 定例自然観察会(5回)
 - ・ 昆虫標本作り講座(1回)
- (9) 研究所の実習室を会場に宍道湖学習講座を開催した(4回)。
- (10) ゴビウスの学習コーナーに研究所として秋の「鳴く虫」の展示を実施(協力)した。
- (11) ニュースレター「HOWP」を発行(14-17号)し、自然情報等の発信に努めた。
- (12) ホームページで自然情報やイベントなどの情報発信を行った。
- (13) 学校や地方公共団体等が主催する観察会や研修会等に講師を派遣した(57回)。

6. 情報収集発信事業

- (1) 文献、標本、写真、映像などの資料収集・整理につとめた。
 - 文献・図書は、購入419冊、寄贈・交換2,520冊、計2,939冊を取得した。
- (2) グリーンパークの自由閲覧可能な本棚に野鳥や自然に関する本を新たに40冊配架した。
- (3) 「ホシザキグリーン財団研究報告第13号」を発行した(原著論文31題、328pp.)。
- (4) 宍道湖自然館ゴビウスとの特別展共同開催に伴い、展示解説書「田んぼの命」を共同で発行した。
- (5) ふるさと尺の内公園が開園15周年を迎えたことを記念して観察会のガイドブックを2冊(昆虫類と鳥類)発行した。

7. 地方公共団体からの受託事業

- (1) 島根県立宍道湖自然館管理運営業務(指定管理、主管課:島根県水産課)
 - 宍道湖自然館ゴビウスの管理運営を行い、普及啓発や調査研究などの各種事業を実施した。
 - 詳細は別資料(宍道湖自然館館報No.9)。
- (2) 鳥類生息調査業務(受託先:島根県森林整備課)
 - 日本野鳥の会島根県支部の協力を得て、宍道湖・中海など主要な渡来地でカモ科鳥類の個体数調査を実施(10-3月に毎月1日)した。
- (3) 出雲市自然環境調査研究業務(受託先:出雲市)
 - 出雲市西部の河川(田儀川、小田川、常楽寺川など)に生息する鳥類、昆虫類、魚類等の生息調査を実施した。
 - 生物調査の成果を小冊子「小田川と田儀川の生きもの図鑑」(31pp.)にまとめた。
 - 水生生物の観察会を1回、野鳥の観察会を2回行った。
- (4) 斐伊川外水辺環境調査業務(受託先:中国地方整備局出雲河川事務所)
 - 斐伊川水系の住民参加による水生生物や水質の調査を行った。
- (5) 宍道湖・中海の賢明な利用推進事業(受託先:島根県自然環境課)
 - 「賢明な利用を語る会」(3回)など両湖のラムサール条約湿地としての普及事業を行った。
- (6) 宍道湖・中海の環境学習推進事業(受託先:島根県自然環境課)
 - ラムサール条約湿地としての普及事業として自然観察会、環境学習会(計10回)を行った。
- (7) こどもエコクラブ交流会(東部)開催業務(受託先:島根県環境政策課)
 - こどもエコクラブの交流会(1回)を開催した。
- (8) 宍道湖公園利便施設管理業務(指定管理:出雲市)
 - 宍道湖公園利便施設多目的棟の管理業務を行った。

II. 管理部門

1. 監査

平成 21 年 5 月 28 日に高橋良昌監事、高橋康夫監事により平成 20 年度一般会計及び業務の監査を受け、会計及び業務とも適正と認められた。

2. 役員会

平成 21 年 6 月 10 日 第 1 回評議員会

- ・理事の補充選任を承認

平成 21 年 6 月 17 日 第 1 回理事会・第 2 回評議員会

- ・平成 20 年度の事業報告を承認
- ・平成 20 年度の決算報告を承認
- ・公益認定法人への移行について
- ・評議員の補充選任を承認

平成 22 年 1 月 7 日 第 3 回評議員会

- ・理事の補充選任を承認

平成 22 年 3 月 23 日 第 2 回理事会・第 4 回評議員会

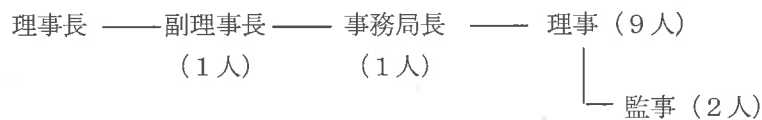
- ・平成 21 年度の収支予算の変更を承認
- ・平成 22 年度の事業計画を承認
- ・平成 22 年度の収支予算を承認
- ・役員任期満了に伴う理事・監事・評議員の改選
- ・ホシザキ電機第 64 期株主総会議案の賛否（理事会のみ）

【組織】

理事長以下、理事 12 名、監事 2 名、評議員 15 名、職員 27 名で管理運営にあたった。

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

(1) 役員



(2) 評議員

評議員 (15 人)

(3) 職員

